

令和3年3月吉日

卒業式を終えて

3年間生徒達をご家庭から応援してくださった41期保護者の皆さま、改めてお子様のご卒業おめでとうございます。

PTA 会長 菅田ゆかり

校長先生の式辞“People fall forward to success”のお話は、子どもたちの背中をととても大きな手のひらで押してくれたような、温かく強い励ましのメッセージでした。卒業生代表の伊勢くんの『私たちは可哀相じゃない、楽しかったし思い出も作れた!』という答辞にはハッとさせられました。常に可哀相だな、可哀相だな、と同情してきてしまいましたが、本人たちはとても明るく前向きに頑張っていたのです。41期生は頼もしいです!最後の担任団を代表しての青田先生からのお言葉は、保護者も涙で視界が滲むほどでした。寂しい、と言ってもらえて幸せな子どもたちです。この日一番の拍手が響きました。直接感謝の気持ちをお伝えできたのは担任の先生だけでしたが、今日は朝早くから学年関係なくたくさんの先生方が準備にご尽力くださっていました。この状況の中で、検温や受け付け、会場での換気や記名票の回収など、どんなに大変だったことでしょう。本当に参列させてもらえたことに感謝です。教職員の皆様方、ありがとうございました。



卒業式予行にて 学年主任青田先生と共に

3学年保護者サポートチーム：パーカー担当 廣 智美

コロナ禍で自粛期間中、PTA各委員の立ち上げが行えず、3学年保護者委員も不在の状況でした。「卒業に向けて、なんとか例年通りの準備を進めたい!」と全体に熱意を伝えてくれた、会長はじめ本部役員の方たち。「多くの制約がある中、頑張っている成高41期生の門出をお祝いし、応援したい!」「記念品等準備のサポートでお役に立てたら!」と有志6名が手を挙げ、計12名で活動してまいりました。勿論、実際の会合は最低限に留め、グループメールが主です。大変な状況乗り越えてきた41期の卒業記念品は、Tシャツの代わりに思い出に残るような「オリジナルパーカー」の制作、と決まりました。「ロゴデザインに思いを込めて学年カラーに」「パーカーのデザイン・カラーも着やすく」等、積極的にアイデアが出ました。ちなみに、卒業式で胸につけたコーサージュを「応援団」のカラーで揃えよう!の案も、この時に決まりました。完成品が届いた時は、素敵な仕上がりに一同で喜びと安心を共有しました!子供達に渡せる日を楽しみに進めることができました。このようにして出来上がったオリジナルパーカー!41期生の皆さんの思い出と絆の一役として、着てもらえると幸いです。

終始、「応援」と「成高への感謝」の気持ちが溢れ、温かい活動となったと感じています。このような機会を与えていただいた全ての方々に感謝申し上げます。